
第3報 平成23年3月23日

東北関東大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

【鉄鋼製品】

東北地区や関東北部を中心に、製造設備や港湾設備等に大きな被害が出ており、操業を停止している工場も多い。関東南部では大きな被害は少ないが、電炉メーカーでは計画停電の影響を見ながらの操業となっている。

【ストレートアスファルト、改質アスファルトの供給状況】

ストレートアスファルトについては、現在、関東および東北地区で稼働している製油所は、出光興産千葉製油所と昭和シェル（東亜石油）扇町工場の2プラント。また、JX日鉱日石エネルギー根岸製油所も、出荷再開にむけ準備を行っている。

改質アスファルトは、多くの工場で原材料となるストレートアスファルトや燃料の調達に支障が生じている。

【問い合わせ先】

財団法人 経済調査会

第一調査部

Tel 03-3543-1471

【鉄鋼製品】

■東北、関東地区 流通業者

◇東北（仙台）地区

東北（仙台）地区における鋼材流通業者の拠点は岩沼地区、仙台港周辺に集中しており、地震と津波による甚大な被害を受けている。被害状況については現在確認が取れない状況。

◇関東地区

浦安鉄鋼団地内は、地震による地盤沈下、液状化現象の影響を受けている特約店が多数ある。倉庫内の積荷崩れなどの軽微な損害に留まらず、建屋の傾き、倉庫内の地盤沈下による出庫が不能となる特約店もある。損害の程度に差はあるものの、通常の操業水準に戻る間には時間がかかる見込み

■高炉メーカー

新日本製鐵(株)

◇岩手県

- ・ 釜石製鉄所：構内の一部が冠水し、生産休止中。港湾設備に被害が出ており、復旧の見通しは立っていない。

◇千葉県

- ・ 君津製鉄所：被害は無く、通常の生産水準で操業中。君津共同火力への電力供給を優先することから、一部の設備を休止中。

J F E スチール(株)

◇神奈川県

- ・ 東日本製鉄所（京浜地区）：地震直後に高炉を休風したが、設備に被害が無かったことから 3 月 13 日から高炉への送風を再開。通常の生産水準への回復に向け作業中。

◇千葉県

- ・ 東日本製鉄所（千葉地区）：地震直後に高炉を休風したが、設備に大きな被害は無かったことから 3 月 14 日から高炉への送風を再開。現在、復旧作業中。

住友金属工業(株)

◇茨城県

- ・ 鹿島製鉄所：地震の影響で構内に火災被害有。地震直後に休風した高炉 2 基中、1 基は送風を再開、残り 1 基は送風再開に向けて復旧作業中。岸壁クレーンの損傷など、被害のあった設備についても復旧に向けて作業中だが、一部工場については製造を再開。

■電炉メーカー

東京製鐵(株)

◇栃木県

- ・ 宇都宮工場：設備に大きな被害は無いが、現在、設備の詳細な損害状況を確認している。計画停電の影響などを確認しつつ、3月末までに通常の操業が行えるよう復旧作業中。

J F E 条鋼(株)

◇宮城県

- ・ 仙台製造所：地震と津波による被災から、現在、操業を停止中。一部設備に損壊と水没被害が発生しており、立入可能になり次第、詳細な被害を確認する、としている。

◇茨城県

- ・ 鹿島製造所：地震の影響で一部設備に損壊被害が発生。電力供給と工業用水の供給制限から操業再開は未定。

合同製鐵(株)

◇千葉県

- ・ 船橋製造所：設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

東京鉄鋼(株)

◇栃木県

- ・ 本社工場（小山）：地震の影響で一部設備に損壊被害が発生。計画停電の影響を見ながら操業中。

◇岩手県

- ・ 八戸工場：地震の影響で一部設備に損壊被害が発生。現地の立ち入り禁止措置が解消されたことで、現在、設備の点検作業に入っている。操業の再開時期は未定。

(株)伊藤製鐵所

◇宮城県

- ・ 石巻工場：地震と津波による被災から、現在、操業を停止中。被害の詳細は不明。

◇茨城県

- ・ 筑波工場：設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

東北スチール(株)

◇宮城県

- ・ 本社工場（仙台）：地震と津波による被災から、一部設備に損壊被害が発生し、現在、操業を停止中。停電等の影響もあり操業の再開時期は未定。

■他メーカー

(株)クボタ

◇千葉県

- ・ 京葉工場（船橋）：設備に大きな被害ないが、工場内敷地の一部や周辺道路に液状化現象による影響あり。計画停電の影響を見ながら操業中。
- ・ 京葉工場（市川）：設備に大きな被害ないが、工場内敷地の一部や周辺道路に液状化現象による影響あり。計画停電の影響を見ながら操業中。

日鐵住金建材(株)

◇宮城県

- ・ 仙台製造所：地震と津波による被害が発生。工場内が冠水したため、現在、操業を停止し、設備の被害状況を確認中。

◇栃木県

- ・ 野木製造所：設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

J F E 建材(株)

◇埼玉県

- ・ 熊谷工場：設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

◇千葉県

- ・ 千葉工場：設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

2011.3.22

財団法人 経済調査会

【ストレートアスファルト供給情報】

①製油所の状況について

2011/03/22確認

製油所・工場名	所在地	稼動状況	出荷状況		備考	
			陸上出荷	海上出荷		
JX日鉱日石 エネルギー	仙台製油所	宮城県	×	×	×	震災の影響により出荷再開時期未定
	鹿島製油所	茨城県	×	×	×	震災の影響により出荷再開時期未定
	根岸製油所	神奈川県	×	×	×	出荷再開に向け調整中
コスモ石油	千葉製油所	千葉県	×	×	×	火災により出荷不可長期化
	四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
	堺製油所	大阪府	—	—	—	2010年3月より生産停止 (燃料油は問題無く生産・出荷中)
	坂出製油所	香川県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
昭和シェル	東亜石油(株) 扇町工場	神奈川県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
	昭和四日市石油(株) 四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
	西部石油(株) 山口製油所	山口県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
出光興産	千葉製油所	千葉県	○	○	○	ただし、3月末で販売終了を予定。

※稼動状況については、工場が製造を継続している場合は○、していない場合は×で表示。

※出荷状況については、出荷している場合は○、していない場合は×で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

今回の震災により、現在、関東、東北地区において稼動している製油所は、出光興産、昭和シェル(東亜石油)の2社2製油所である。また、稼動していない製油所のうち、出荷にある程度の目処があるのは、JXの根岸製油所となっている。そのほか、元売り各社による二次基地への転送が確認できているのは、東北地区においては、青森県、秋田県である。関東地区においては、今のところは、各都県で流通しているものの、今後の状況によっては、生産拠点の減少により、過度な需要には対応が困難であることが予想される。

4月以降は、出光興産がアスファルト事業からの撤退を表明しており、より不透明な状況が続く。

【改質アスファルト供給情報】

①製造拠点(工場等)の状況について

2011/03/22確認

工場名		所在地	稼動状況	出荷状況	備考
日進化成	東北工場	岩手県	○	○	工場用A重油の在庫が7日分しかない。 原料のストアス入荷が厳しい。
	関東工場	埼玉県	○	○	原料ストアス入荷減少。 その他問題なし。
ニチレキ	青森工場	青森県	×	×	原材料、燃料の入手が難しい
	仙台工場	宮城県	×	×	津波の影響により被災、再開の時期未定
	千葉工場	千葉県	○	○	原材料、燃料の入手が難しいが出荷可能
東亜道路	青森工場	青森県	○	△	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。特に燃料入手困難で出荷不能状態になっている。
	岩手工場	岩手県	○	△	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。特に燃料入手困難で出荷不能状態になっている。
	宮城工場	宮城	×	×	設備その他すべて不能。(復旧の見込み無し。全壊。)
	福島工場	福島	×	×	設備等被害少と見られる。(機能は保たれていると思われるが当面稼動しない。閉所中)
	茨城工場	茨城県	○	△	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。特に燃料入手困難で出荷不能状態になっている。
	群馬工場	群馬県	○	△	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。特に燃料入手困難で出荷不能状態になっている。
	千葉工場	千葉県	○	△	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。特に燃料入手困難で出荷不能状態になっている。
	神奈川工場	神奈川県	○	△	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。特に燃料入手困難で出荷不能状態になっている。
	長野工場	長野県	○	△	設備等問題なし。稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。特に燃料入手困難で出荷不能状態になっている。

※稼動状況については、工場が製造を継続している場合は○、していない場合は×で表示。

※出荷状況については、出荷している場合は○、していない場合は×、燃料、原材料がなく出荷できない場合は△で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

ストアス、A重油および軽油が入荷未定、あるいは入荷しづらい状況が続いている。工場の設備には問題がなくとも、原材料のストアス、燃料の調達状況に難あり。
特に東北地区での状況は深刻で、すでに震災前に保有していた在庫をすべて出荷し、製造再開が未定となっている工場も出てきている。
関東地区は、ストアスは、現在まで比較的入手できる状態にあるが、燃料が不足気味の状況が続いている。